

2004.04.03-04

扇ノ山 Mountain Ski



種目：山スキー
山域：鳥取県
場所：扇ノ山
日時：04.04.03-04
コース：広留野 - 山頂泊 - 広留野
天候：曇 / 霧雨 / 雪 / 曇
メンバー：石野・横小路・大塚・大倉・大本

3日 曇 / 霧雨 広留野 - 山頂泊

8:35 493m 広留野入口着 スキー担ぎ

広留野の大根畑が除雪してしてあるだろうと踏ん



杉が倒れている林道

で、車を走らせたが、残念(>_<)!、ふるさとの森と広留野の分岐で駐車。広留野へ

入る林道は雪がないものの杉が倒れていたりしてとても車で入れたものではない。

9:55 835m 登山道入口 シール

3.5kmのアスファルト道のスキー担ぎでいささか疲れたものの、これも白山へのトレーニングと思えばどうって事はない。登山道入口からやっと本格的に雪が付いているのでシールを装着する。昨年に比べると山々には雪付きが非情に少ない、これで播州のヤブスキーも今回で終わりだろう。

10:34 935m 林道分岐 尾根に取り付く

ミズナラとブナの巨大原生林の静かな森の中を

その夜は小雨が雪に変わって期待通りの10cm以上の降雪となった。小雪舞う中、山頂よりパウダースノーを存分に満喫して播州のヤブスキーのフィナーレにふさわしい一日であった。

速に扇ノ山に足を運んだ。

四月に入ると春たけなわで、草木が芽吹き、色とりどりの花が開き、ウグイスが歌い始め森の中も雪溶けが始まり森の祝宴真っ盛りだ、ふもとでは桜の木の下で酒宴が始まっている。そんなおり週末は北部は曇りペースで気圧の谷が通り過ぎ花冷えとなる予報。この時期にとっては期待期そうなる雪面になると踏んで早



森の雪解けが始まる

シールでサクサクを歩いているとコゲラが「カカカカッ」とくちばしで木を突っついている音が森中にこだまする。いつものように我々

以外に人の気配は全くない・・・大自然と同化して心が洗練されていくようである。

11:18 1110m ピーク 小雨

尾根付きからはいつものようにヤブとの格闘が始まる、しかしこれが自然で当たり前なので四苦八苦はするものの手慣れたもので枝を掴みながら板を器用に回してすり抜けて登っていく。小雨が降って風も出てきたのでカッパを装着。

11:37 濃いガスが立ちこめて辺りはホワイトアウトになりつつも稜線を雨に打たれながら登



播州特有のヤブ登り



周りはしだいにホワイトアウトと化していく



雪化粧をほどこした山頂小屋

りつめる。

12:07 1309m 山頂小屋到着

予定時刻に到着、先行者2人パーティのトレースが付いていたが早々に引き上げた模様である、トレースからはどうやらテレマーカーのようであった。

小屋では以前に荷揚げしていたストーブを出して早速に暖をとる。この雨が気圧の谷が通ることによって雪に変わることを明日に期待する。

序々に宴会モードになってきて各自が鍋材料を持参しているので大鍋に入れてチャンコ仕立てに料理が仕上がると酒宴もたけなわで、いつの間にか窓の外は暗くなり期待通りの雪に変わっていた(^O^)。明日朝が楽しみである。

4日 小雪 パウダー満喫

5:30 起床

昨晩は少々寒くて熟睡といかなかったが、今朝の外の景色を見るとそんなものは吹っ飛んでしまう。扇ノ山は真冬に逆戻りである。

7:00 行動開始

まずは本谷の急斜面へ霧氷の舞を舞いに滑降。いつものように戦陣を切ってスキー雪崩を起こしながらカッ飛んで行き下からビデオを構える・・・う～む、素晴らしい光景だ、「さぁ、みんなかっこよくカッ飛んでこ～い。」

続いてブナ林を快適に滑り込み、大ズッコ山頂へと登り返す。前から狙っていた東斜面の急斜面へカッ飛ぶ。10cm パウダーの下はアイスになりかけでエッジがよくかかる。誰からともなく満喫の奇声があがる。



ブナ林をポールに見た立ててスノーダンス



次ぎに山頂小屋に引き返し小屋の東斜面へロングライド、これがまた格別で雪化粧をほどこした巨大ブナをポールに見立てて縦横無尽にパウダーを食いつぶす。

10:05 約3時間の朝のパウダーランに最高にいい汗をかかせてもらい、鍋材料を煮込んで早い昼食に取りかかる。

12:07 1140m 地図確認

少しなだらかなピークに出くわし入念に地図とGPSで確認する。

12:28 940m 林道到着

急斜面のグスグスの腐れ雪をブッシュかき分けトラバースしてようやく林道に出た。



グサグサ雪をトラバースしてブッシュかき分け林道に飛び出す

12:38 935m 林道分岐

昨日に取り付いた尾根の林道分岐に到着。ここからは手漕ぎスキーでいささか疲れてしまった。

13:15 スキー担ぎ

今日もまだ広留野はまだ除雪していなかった。3.5kmのスキー担ぎでファイナルを向かえる。

14:30 車デポ地点

無事に下山。

11:48 下山開始

小雪降る中、早々に南斜面へとスキーを走らせていく。帰りはピストンではなく1194mピークより一つ東の尾根を下って林道に降りることにした。この尾根もなかなか楽しませてくれた。

PS.

播州の山スキーではめったに無い4月の降雪で大いに楽しませてもらい悔いのないフィナーレを飾ることが出来た。さぁこれからは東へ東へと雪を求めてのドラマが始まる。